

# 自衛隊の災害時の行動を解説 危機管理研修で防災講話



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、11月17日（火）国土交通省北陸技術事務所（新潟市西区）で実施された危機管理研修において防災講話を行いました。これは、北陸地区の国土交通省各事務所職員に対し大規模災害発生時における危機管理能力の向上を目的に毎年行われているもので、例年春頃に実施されていたが、今回は新型コロナウイルス禍の影響により延期され、感染予防策を講じた上で今回の実施となりました。

当日は、北陸地区の事務所係長から課長まで20人が参加し、新潟地方協力本部と同じ新潟美咲合同庁舎に所在する国土交通省北陸地方整備局から依頼を受けた広報室長（1陸尉 鈴木勝太）が「自衛隊の災害対応について」をテーマに講話を実施しました。

講話では、災害派遣の法的根拠の解説から始まり、東日本大震災や平成30年の豪雨災害における自衛隊の人命救助及び生活支援等の活動状況を紹介しました。また、新潟県周辺における自衛隊の紹介として、陸上自衛隊第12旅団の特色や災害発生時の初動態勢を説明しました。

参加者からは「我々も災害に対処する一員として、その最前線で活動する自衛隊の講話は大変参考になった。今後の対処要領の改善に役立てたい」といった感想の声を聞くことができた他、「来年度も講話をお願いしたい」と依頼を頂きました。

新潟地本は、今後も防災講話等を積極的に実施し、各機関との連携を強化できるよう業務に邁進していきます。